

2023年度 第2四半期 決算概要

2023年11月8日

沖電気工業株式会社

2023年度 第2四半期累計 決算の概要

- 前年比 増収・増益。
1Qで計上した貸倒引当金戻入による一過性の利益を除いても増益。
- 売上高はサプライチェーン正常化による生産回復や大型案件の展開開始により増収。
- 営業利益は物量増等により増益。

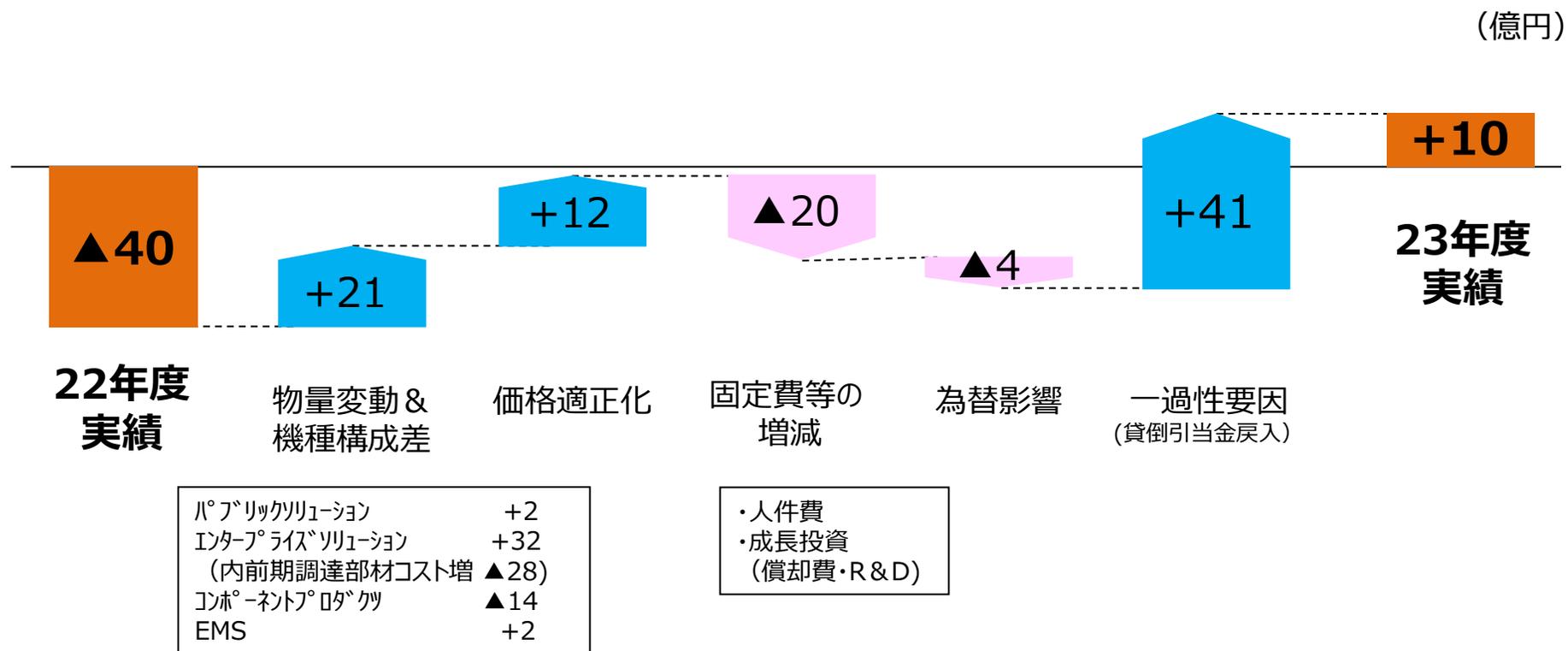
(単位：億円)	23年度 実績	22年度 実績	前年比
売上高	1,749	1,628	+121
営業損益	10	△40	+50
経常損益	5	△49	+54
(親会社株主に帰属する) 四半期純損益	3	△57	+60
USD平均レート (円)	141.0	134.0	+7.0
EUR平均レート (円)	153.4	138.7	+14.7

2023年度 第2四半期累計 セグメント別売上高/営業利益

- 売上高はコンポーネントプロダクトを除く3セグメントで増収。
- 営業利益はエンタープライズソリューション、EMSで増益。

(単位：億円)			23年度 実績	22年度 実績	前年比
パブリック ソリューション	売上高	393	392	+1	
	営業利益	△8	△6	△2	
エンタープライズ ソリューション	売上高	639	478	+161	
	営業利益	39	△27	+66	
コンポーネント プロダクト	売上高	349	409	△60	
	営業利益	5	15	△10	
EMS	売上高	365	347	+18	
	営業利益	9	5	+4	
その他	売上高	2	2	±0	
	営業利益	△4	2	△6	
消去・本社費	営業利益	△29	△28	△1	
連結合計	売上高	1,749	1,628	+121	
	営業利益	10	△40	+50	

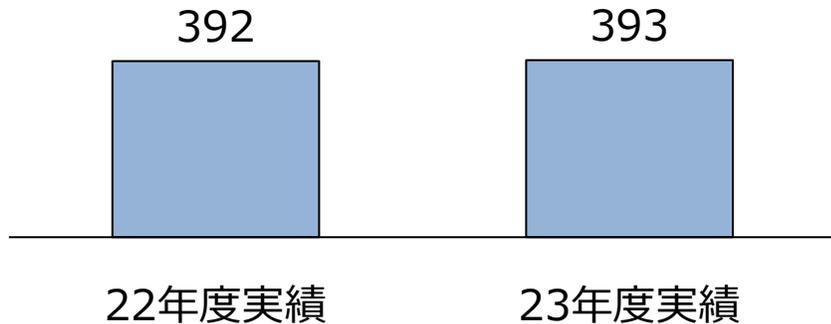
- 部材不足による生産減影響からの回復及びスタートした大型案件などの物量増でプラス。
- 人件費、成長投資は計画通り実施。



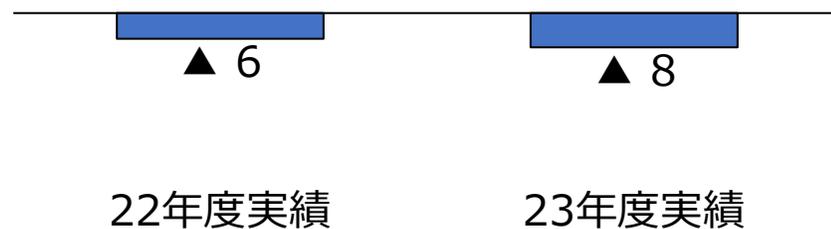
パブリックソリューション

- 道路、消防、防災は着実に増加。
防衛も1Qに引き続き増加。
一方で通信キャリア向案件の減少もあり、全体では売上、利益とも前年並。

売上高 (億円)



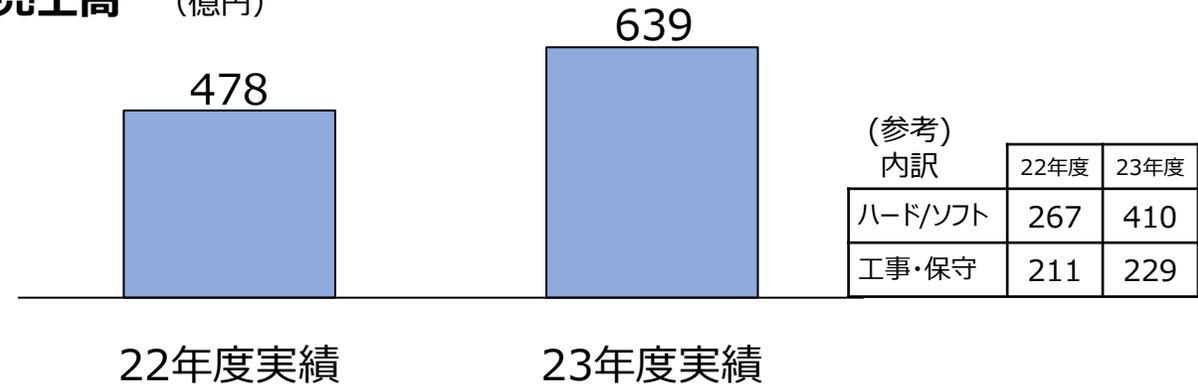
営業利益 (億円)



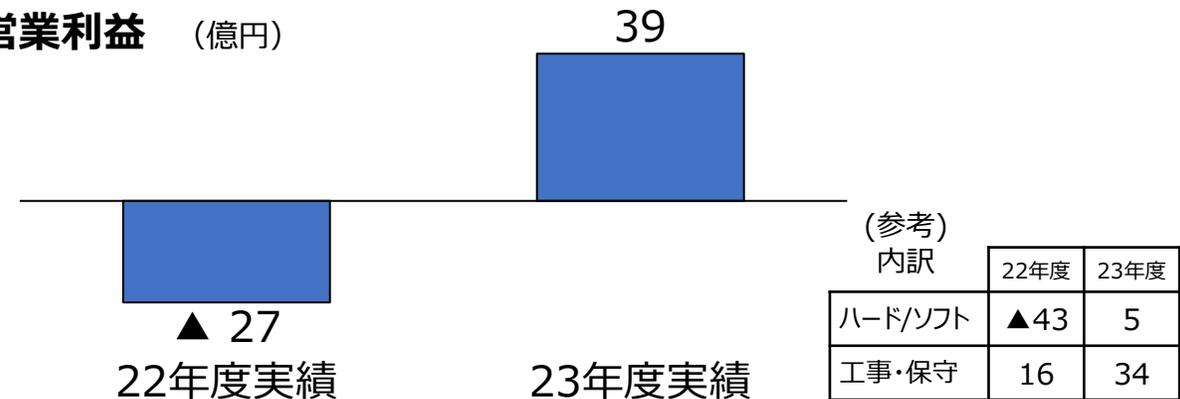
エンタープライズソリューション

- サプライチェーン影響の改善、大型案件などにより増収。
前期調達部材コスト増影響が残るものの、ハード/ソフトの売上増、工事・保守の収益により増益。

売上高 (億円)



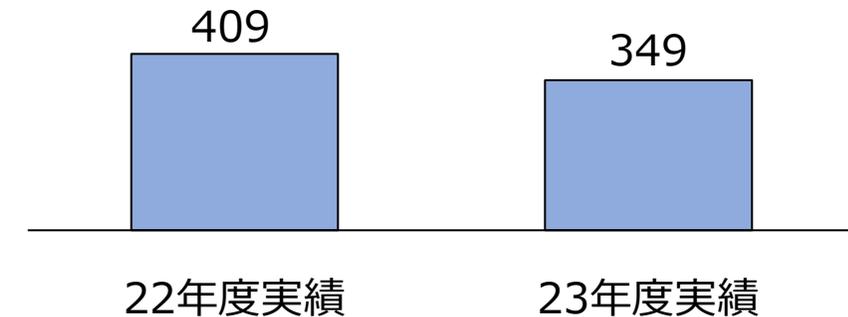
営業利益 (億円)



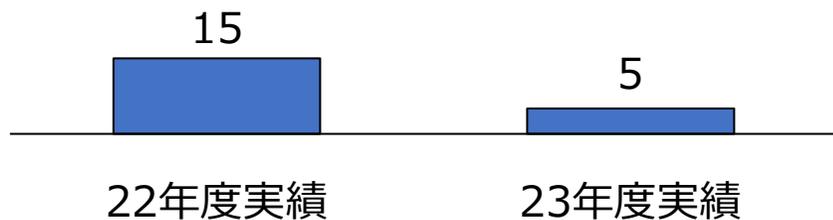
コンポーネントプロダクツ

- IoTはサプライチェーン影響の調達改善等によりプラス。プリンターは海外での需要停滞、流通在庫過多による減収影響大きく減益。

売上高 (億円)



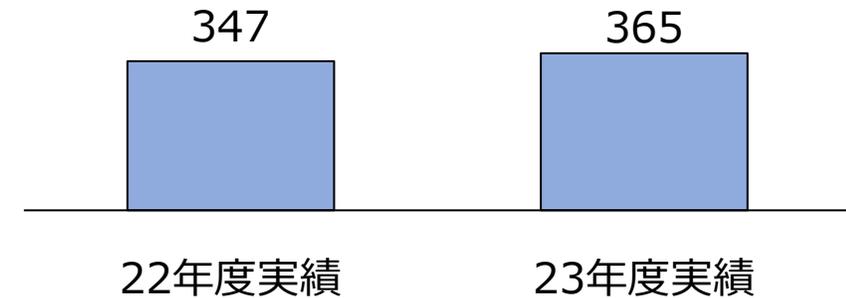
営業利益 (億円)



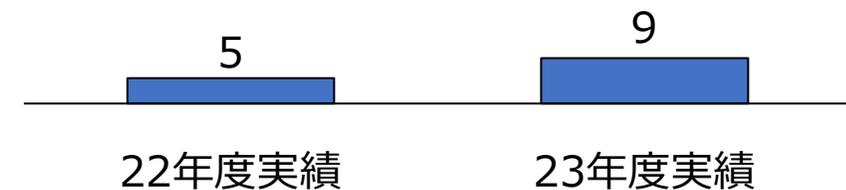
EMS

- サプライチェーン影響の改善もあり、増収増益。半導体市況や中国経済減速により、一部市場で停滞感あるものの、その他堅調な市場でカバー。

売上高 (億円)



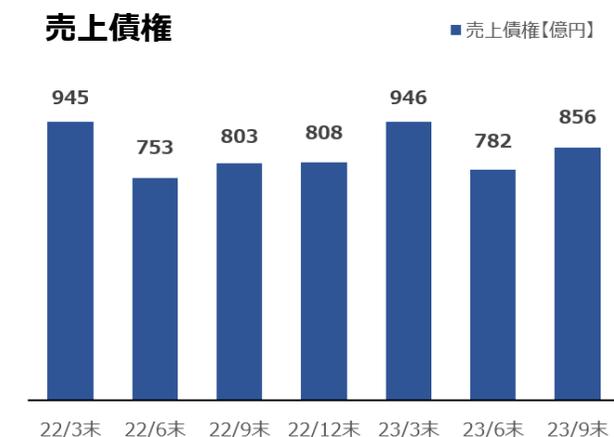
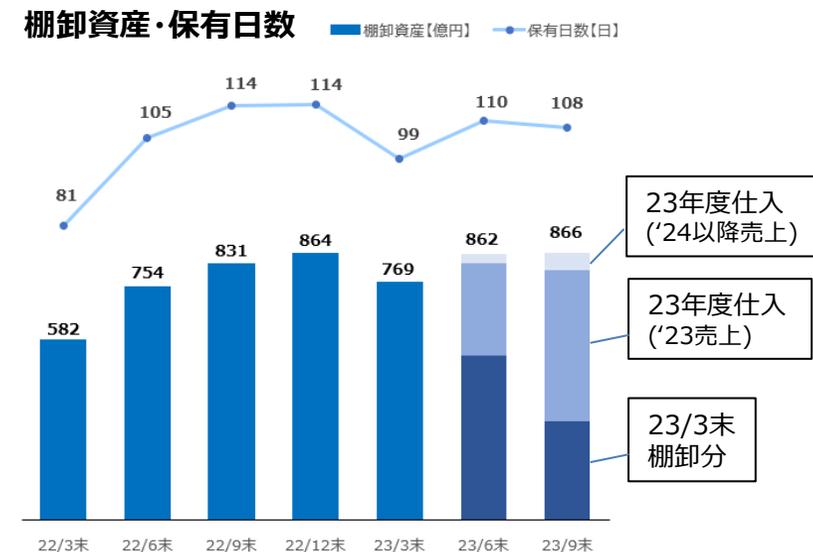
営業利益 (億円)



2023年度 第2四半期 B/Sの概要

- 棚卸資産は3月末比増加も、生産正常化による出荷増及び棚卸管理により6月末と同水準を維持。
- 売上債権は売上増により6月末比増も、債権流動化により増加を抑制。
- 自己資本比率は1.0ポイント増。

(単位：億円)	23年 9月	23年 3月	前年度末比
流動資産	2,211	2,302	△91
固定資産	1,695	1,602	+93
資産の部	3,905	3,904	+1
流動負債	1,929	2,053	△124
固定負債	945	859	+86
負債の部	2,874	2,911	△37
自己資本	1,030	991	+39
その他	1	2	△1
純資産	1,031	993	+38
負債及び純資産合計	3,905	3,904	+1
自己資本比率(%)	26.4	25.4	+1.0
DELシオ(倍)	1.2	1.2	±0



- 営業キャッシュフローは棚卸資産を中心に運転資本増減額が改善、前年比良化。

(単位：億円)	23年度 実績	22年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	△10	△123	+113
II 投資キャッシュフロー	△102	△104	+2
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△112	△227	+115
III 財務キャッシュフロー	11	190	△179
現金および現金同等物の残高	288	317	△29
固定資産取得額	97	91	+6
減価償却費	66	59	+7

■ 通期業績予想は前回予想(8/10)から変更無し

(単位：億円)			23年度予想	8/10予想比	22年度実績	前年差
パブリックソリューション	売上高		980	±0	957	+23
	営業利益		40	±0	34	+6
エンタープライズソリューション	売上高		1,780	±0	1,129	+651
	営業利益		155	±0	15	+140
コンポーネント プロダクト	売上高		810	±0	846	△36
	営業利益		20	±0	16	+4
EMS	売上高		830	±0	753	+77
	営業利益		25	±0	23	+2
その他	売上高		0	±0	5	△5
	営業利益		△15	±0	4	△19
消去・本社費	営業利益		△75	±0	△68	△7
連結合計	売上高		4,400	±0	3,691	+709
	営業利益		150	±0	24	+126
	経常利益		125	±0	△3	+128
	当期純利益		80	±0	△28	+108

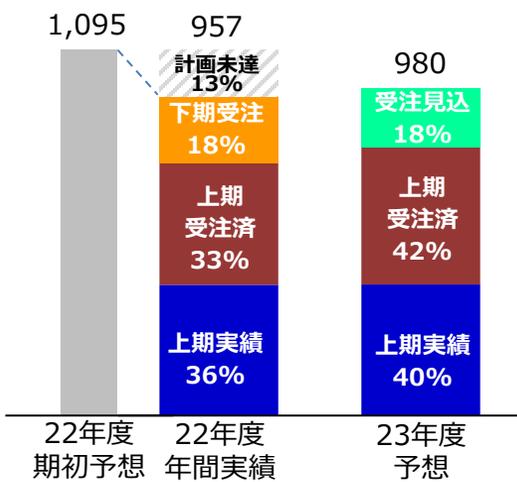
下期
前提為替レート
USD：148円
EUR：158円

- パブリックソリューション
- エンタープライズソリューション

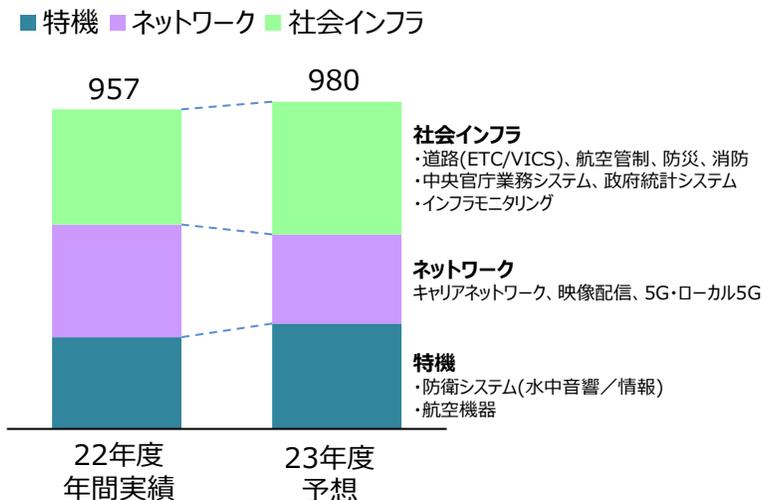
■ パブリックソリューション

- ✓ 上期末時点で売上予想値に対する確保率は82%と前年を上回る。
- ✓ 領域毎に強弱あるものの全体では計画通り。
 - ・道路、消防、防災はコロナ影響等市場回復もあり、前年に対して着実に増加。
 - ・ネットワークは大口ユーザーの投資抑制を織込済。
 - ・防衛は計画通り進捗。

売上高確保状況 (億円)



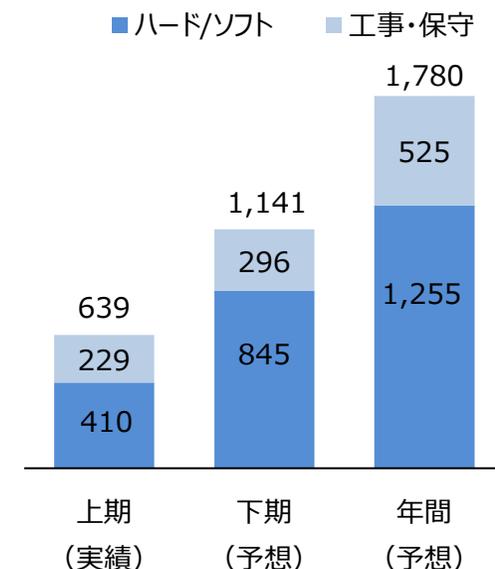
領域別売上高 (億円)



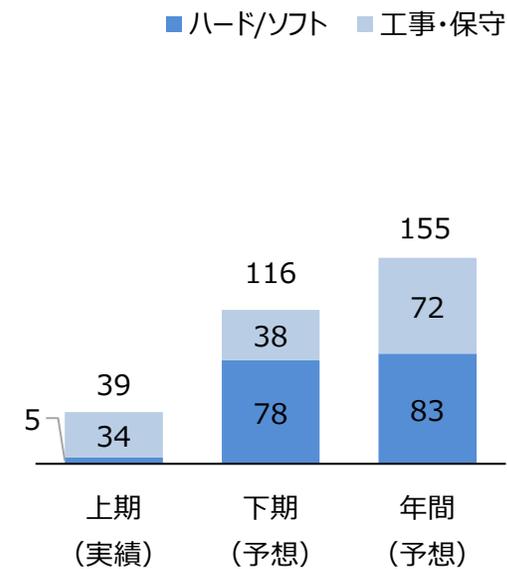
■ エンタープライズソリューション

- ✓ 大型案件による売上増、部材コスト増の影響減等により下期大幅増益の見込。
 - ・下期物量増 (含む大型案件) の本格化。
 - ・高コスト部材影響の低減。
 - ・工事保守 好調。

23年度 売上高 (億円)



23年度 営業利益 (億円)



(補足) セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

(単位：億円)		22年度					23年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
パブリックソリューション	売上高	193	198	228	337	957	193	200
	営業利益	△3	△3	0	40	34	△1	△7
エンタープライズソリューション	売上高	233	245	297	354	1,129	274	365
	営業利益	△16	△11	1	41	15	19	20
コンポーネントプロダクト	売上高	192	218	214	223	846	170	179
	営業利益	△1	16	△1	2	16	△8	13
E M S	売上高	162	185	198	209	753	177	188
	営業利益	1	4	9	9	23	6	3
その他	売上高	1	1	2	1	5	1	1
	営業利益	1	1	1	1	4	△1	△3
消去・本社費	営業利益	△12	△17	△18	△22	△68	△14	△15
連結合計	売上高	781	846	938	1,125	3,691	815	933
	営業利益	△30	△10	△8	72	24	0	10

(補足) 各セグメントの主な製品およびサービス

<p>パブリック ソリューション</p>	<ul style="list-style-type: none">• 道路（ETC/VICS）、航空管制、防災、消防• 中央官庁業務システム、政府統計システム• 防衛システム（水中音響/情報）• 航空機器• インフラモニタリング• キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G
<p>エンタープライズ ソリューション</p>	<ul style="list-style-type: none">• ATM、現金処理機• 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末• ATM監視・運用サービス• 金融営業店システム、事務集中システム• 鉄道発券システム、空港チェックインシステム• 製造システム（ERP/IoT）• 工事・保守サービス
<p>コンポーネント プロダクツ</p>	<ul style="list-style-type: none">• AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW• PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター• クラウドサービス• LEDプリンター
<p>EMS</p>	<ul style="list-style-type: none">• 設計・生産受託サービス• プリント配線板

OKI IR Day (イノベーションおよび技術戦略説明会)

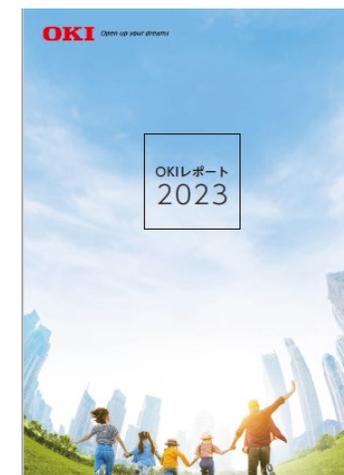
日時：2023年11月16日（木） 13:00-14:30（予定）

方式：会場およびオンラインウェビナーによるハイブリッド方式

概要：中計2025達成に向けたイノベーションおよび技術戦略を各責任者から説明

統合報告書 「OKIレポート2023」

「中期経営計画2025」の内容を中心に、OKIの取り組みを統合的にご紹介しています。ぜひご覧ください



※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。